

平成25年度

施政方針

平成25年2月

飯山市

平成25年度 施政方針

平成25年3月定例市議会の開会にあたり、平成25年度に臨む施政の基本方針を申し上げ、市民の皆様、並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私が就任してから3年目を迎えております。この間、各地区などでの懇談会でのご意見や課題を共有しながら、一つ一つ課題を解決し市政を進めてまいりました。今後も、子どもから高齢者まで住みやすく、安心して安全な生活を送ることができる飯山市づくりを、市民の皆様とともに進めてまいります。

飯山市民30数年来の悲願である北陸新幹線飯山駅開業まで、あと2年となりました。平成24年度には、新幹線関連の整備とあわせ市街地のまち並整備や市民が行うまち並修景への支援を行ってまいりました。また、長野県や県内の多くの経済団体にも参加いただいている信越9市町村広域観光連携会議での広域観光の検討や北陸新幹線飯山駅開業イベント実行委員会を設立し、市民意識の醸成や開業イベントの検討などを行ってまいりました。

本年度は、駅と併設する都市施設が完成する予定であり、駅東口の広場整

備や立体駐車場の整備なども始まり、いよいよ開業に向けた施設が姿を現し始めます。駅開業まで、市民一丸となり新幹線駅開業を盛り上げなければなりません。

新幹線駅開業を契機として、開業の効果が最大限享受できるよう、施設整備はもちろんのこと広域観光の推進、市民のおもてなし意識の向上など受け入れ体制の整備を引き続き進めてまいります。

本年度は、今後10年間の市政運営の最も基本となる第5次総合計画の初年度の年であります。今議会でも議案提出しておりますが、平成34年度までの10年間の基本構想(案)を策定したところです。

この基本構想(案)は、11人の公募委員からなる市民策定委員会で検討をいただき、基本構想審議会の答申を受け策定したものです。第4次総合計画では、新幹線飯山駅の開業を目指すという大きな目標に向け進んでまいりましたが、この新しい第5次総合計画では新幹線飯山駅開業後の飯山市を展望したうえで、飯山市が目指す将来都市像への基本的な方向を示したものであります。

将来都市像として、『自然と共生する豊かな暮らし ～^{えにし}技と縁のまち 飯山～』と決めました。これは、新幹線飯山駅開業を契機として、人と自然が調和し快適で持続可能な豊かな暮らしを創出し、地域の暮らしを支えてきた産業の

技を更に磨くとともに新しさも取り入れ、新たな価値の創造を目指し飯山ブランドを全国に発信し、新幹線によって新たに結ばれた^{えにし}縁とともに、地域や都市との連携・交流を進め、訪れたいまち、住み続けたいまち飯山市をつくっていかうとするものです。

この将来都市像を実現するため、市民の皆様とともに多様な活動主体の参画により、まちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

ここで、市政を取り巻く国や県の状況等をご説明申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。

昨年の衆議院議員総選挙の結果、3年続きました民主党政権から自民政権に代わりました。景気対策、社会保障など種々の課題がありますが、これらの課題を克服し、国民が安心して生活できる日本となるよう、期待するとともに政策について十分注視してまいりたいと考えております。

我が国の経済状況をみますと、東日本大震災からの復興需要や政策効果などにより、回復に向けた動きが見られましたが、その後、世界経済の減速などにより弱い動きとなり、景気の底割れが懸念される状況となりました。

このような中、政府は、景気の底割れを回避するため、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を策定し、緊急経済対策を実行するため平成24年度補

正予算と平成25年度予算を合わせ「15か月予算」とし、切れ目のない経済対策を行いつつ景気の下支えを行うこととしています。これら施策の推進等により着実な需要の喚起とあわせ、世界経済の緩やかな回復が期待され、景気も上向くと期待されております。

国の新年度予算案は、前年度当初比2.5%増の92兆6115億円となり当初予算としては過去最大となりましたが、基礎的収支(プライマリーバランス)の改善など財政健全化目標に向け第一歩を踏み出した予算編成となっております。しかしながら、25年度末の公債残高が750兆円と見込まれ、国民1人当たり約589万円の借金を抱え、次の世代へ先送りしているものであり、国の成長戦略とあわせ財政基盤の安定をどう図るかが大きな課題となっております。

長野県では、平成25年度が初年度で県政運営の基本となる「長野県総合5か年計画」の基本目標である「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向けた予算編成をしたところです。国の「15か月予算」に対応し2月補正予算と一体的に編成した結果、前年度比360億円、4.3%の増と県内経済の下支えと雇用創出のため積極的な予算編成となっておりますが、県税収入が伸び悩む中、基金の取り崩しや県債を財源として対応しています。

このような状況の下、飯山市の財政も厳しい状況ではありますが、新幹線開業まで2年となり、一般会計の予算規模を161億4千万円、前年度比27億3千万円増の過去最大の予算計上をしたところであり、市税の増収も見込

まれず、交付税についても減少する見込みのなか、これまで新幹線関連整備のため積み立ててきた基金の取り崩しや過疎債などの借入により収支の均衡を図っています。

今後も、将来を見据え、新幹線関連整備など大型事業に対応しながら、長期的に安定した財政運営を進めてまいりたいと考えています。

それでは、平成25年度予算の特徴と、施策の概要を申し上げます。

予算総額は、一般会計で161億4千万円、前年度比27億3千万円、20.4%の増であります。

歳入では、市税を前年度同額の22億5千万円、地方交付税を前年度より2億5千万円減の51億5千万円計上し、不足分を基金繰入金、市債で対応しました。

歳出につきましては、新幹線飯山駅開業2年前となり、駅と併設する都市施設整備、現飯山駅の統合整備、立体駐車場整備など新幹線駅開業関連整備に32億4千万円余、前年度比21億8千万円余の増、まち並整備、まち並整備支援、町屋活用整備、新幹線開業PR推進など魅力あるまちづくりに9億円余、前年度比4億1千万円余の増など、新幹線駅開業関連の整備で前年度比25億9千万円余の増と重点的な配分となっています。

市税、地方交付税など基幹収入が伸び悩むなど限られた財源の中、より効

率的に、そして新幹線駅開業を契機として地域経済の活性化や誰もが住みやすく、安心安全のまちづくりを進めてまいります。

以下、平成25年度の重点施策に関わる事業についてご説明申し上げ、市の姿をご理解いただければと思います。

一つ目は、市の発展に向け大きな転機となる重要課題であります『新幹線駅開業関連整備と開業に向けたまちづくりの推進』への取り組みであります。

先に申し上げましたとおり、新幹線飯山駅開業がいよいよ2年を残すのみとなり、新幹線関連整備も順次完成する予定であり、施設もいよいよ姿を現し始めます。

関連施設の整備のみでは飯山市は発展しません。新幹線駅開業に向けたまちづくりが大変重要となってきます。遊歩道や案内サインの整備などまち並整備や個人の修景整備の支援、町屋を有効活用したにぎわいの創出、飯山城址の復元整備、飯山ぷらざ(仮称)の整備や親水公園の整備など魅力あるまちづくりを進めます。また、昨年、北陸新幹線飯山駅開業イベント実行委員会を設立しイベントの検討や情報発信をしていますが、本年度は、新幹線駅開業に向けた1年前イベントをはじめ各種イベントを市民の皆様とともに実施したり参加していただくなど、市をあげて開業イベントを実施してまいります。

二つ目は、『産業の振興』への取り組みです。

広域観光連携の推進と交流人口の拡大では、昨年1月にスタートした信越9市町村広域観光連携会議を中心に、それぞれの市町村の魅力的な観光資源を広域の資源としてお互いに連携し地域をブランド化し、交通アクセスの整備など国際的にも通用する観光地域を目指した取り組みを行います。また、スキー観光や夏期のスポーツ合宿など、これまでもスポーツをとおした宿泊型観光が行われてきましたが、近年では、旅先でのランニングやトレイル、サイクリングなど、豊かな自然の中でのスポーツや余暇を過ごす旅行が盛んになっています。これからの観光の一分野として、スポーツを通じた新たなツアーや旅行を推進することで、交流人口の拡大を図ってまいります。来年度は、新幹線駅開業イベントを兼ね、3市村で連携し、ハーフマラソン大会を開催する予定でおります。

地域農業の再生として、国の新規就農総合支援事業を拡大し、国の対象となる要件を緩和し、向上意欲のある就農者や農業法人への市単独支援を行うこととしました。あわせて、地区農業再生マスタープランに位置づけられた地区・集落農業再生に必要な事業に対し支援を行い、地域農業再生へ向けた取り組みを行ってまいります。

地元産品を活用した土産品開発、食産業の支援として、食を中心とした土産品のブランド力向上、人材育成への支援、土産品の開発支援や、地域の

資源を活用した製品の製造や販売などの起業者に対する支援を引き続き行い、産業振興はもちろんのこと新幹線駅開業に向けた土産品や食産業の開発支援を進めてまいります。

三つ目は、『教育の充実』であります。

将来の飯山市を担う子どもたちに、確かな学力をつけてもらうことは必要不可欠なことです。進学、就職などその場その場で、子どもたちが多様な進路を選択できる学力を身につけることが、将来の飯山市にとって大きな宝となります。

また、現在実施している深圳外国語学校との交流はもちろん、新たに英語圏の学校との国際交流に積極的に取り組み、義務教育時から英語教育や国際感覚を育む交流を行ってまいります。あわせて、学校教育活動の様子について、市民の皆様にも積極的に情報発信をしてまいりたいと考えています。

ふるさと飯山の自然や生活、歴史や文化の学習をとおして、豊かな感性とたくましい心と体を育て、創造的に自らの夢に挑戦するとともに、ふるさとの未来をひらく子どもたちの育成を目指します。

具体的な事業としまして、小学校・中学校・高校の連携による算数・数学の学力向上と小学校英語の充実、学力実態調査や信州大学と連携して教員の指導力や授業改善を図り、小中学校に外国の英語指導助手をそれぞれ2名

雇用するなど、引き続き学力の向上を図っていきます。教育施設の整備として、飯山小学校の大規模改修や木島小学校の床の改修、保健室へのエアコン設置など教育環境の整備を図ってまいります。

その他、市営野球場の改修やノーマルシャンツェの塗装等の施設整備や引き続きジュニアスポーツや市民スポーツの振興を図ってまいります。

四つ目は、『女性の感性を活かしたまちづくりの推進』であります。

新幹線飯山駅が開業すると、大勢の皆さんがこの地を訪れ、自然豊かな飯山市を満喫し、この地域の特色あるお土産、農産物や地域食材を活用した食を求めます。これらは一つの大きな産業になると考えております。この地域の食材は、安全でおいしく伝統的な食品もあります。飯山を訪れた皆さんが満足するような食産業の育成やその取り組みを支援してまいりたいと考えております。また、お客様をお迎えするには、施設だけあっても足りません、市民全体のおもてなしの心が必要となってきます。

食産業や駅開業後のまちづくりには、女性の皆さんの感性や力が必要となりますので、女性の皆さんの力を発揮していただき、まちづくりを進めたいと考えております。

五つ目は、防災・減災のまちづくりであります。

一昨年の中日本大震災、長野県北部地震では、本市においては、幸いにも人的被害はなかったものの、家屋や公共施設の損壊などがあり、各地で避難所が開設されたことは記憶に新しいところです。

万が一の大規模な災害がおきた場合、まず地域での迅速な対応が必要となります。そのため地域で組織づくりをお願いしております自主防災会の設立に対する支援に加え、本年度は地区・集落などが実施する防災訓練など防災活動、防災備品、備蓄品などの整備に対する支援を新たに制度化するとともに、住宅の耐震対策に加え、保存水などの備蓄品の購入や冬も安心して暮らせるよう災害救助員の派遣も引き続き実施し、防災・減災のまちづくりを進めてまいります。

以上、平成25年度の重点施策の概要を申し上げましたが、その他の施策としては次のとおりです。

まず、子育て支援、子育て環境の充実を進めます。

全国的に少子化が続く中、安心して子どもを産み育てる環境づくりが急務となっています。子育て支援施策として、中学3年生までの医療費負担の軽減、第3子以降の子どもが保育園や幼稚園に入園する場合の保育料等の無料化を昨年度に引き続き実施し、あわせて延長保育、放課後留守家庭対策としての児童館・学童クラブの運営、子育て支援センターの運営等を行い、子育て環境の整備充実を図ってまいります。

次に、健康増進、健康で安心して暮らせる検診体制を進めます。日本の死因の第1位はがんであり、当市においても死因の第1位となっております。死亡率が増加している乳がんの検診について、従来の節目の年齢への無料クーポン券の配布に加え、特別重点として、罹患率の高い46歳から59歳の年代にも無料で検診できるようにします。あわせて、若年層の罹患が増加している子宮頸がんの検診についても、新たに30歳から39歳の女性にも無料でHPV検査を実施できるようにします。また、国民健康保険加入者の特定健康診査においても、検診料を無料とし、検診項目を増やし、夜間検診を実施するなど市民の健康増進を図り、あわせて医療費の抑制に向けた取り組みを行ってまいります。

介護予防など福祉施策につきましても、介護予防すこやか・はつらつ事業、家族介護支援事業など介護予防や対象要件を拡充した障害者・高齢者にやさしい住宅改修、高齢者生きがい対策などに取り組んでまいります。

次に、生活環境については、24年度にごみ減量施策のあり方について、廃棄物減量等推進審議会より答申を頂きました。市のごみ重量を5年間で10%削減することを目標に、『市民のみなで、ごみと資源物の分別を徹底する』ことを重点課題とし推進することとされておりますので、ごみ減量について市民の皆様のご協力をお願いします。

また、農集木島南部の公共下水道への編入、戸狩終末処理場の耐震化事

業、簡易水道の整備など、生活環境の整備を実施してまいります。

以上施策の概要について申し上げます。

最後になりますが、前段申し上げたとおり新幹線飯山駅開業まであと2年となり、文字どおり飯山市にとって大きな節目を迎えます。

これから2年間は、新幹線関連施設の整備はもちろんのこと、広域観光連携、土産品、食、おもてなしなど受け入れ体制の充実が最も重要となります。

新幹線飯山駅開業という大きな機会を生かし、飯山市が発展するよう市も全力で取り組んでまいりますので、市民各層の皆様の一層のご協力をお願いするとともに、議員各位のご支援ご協力を心よりお願いし申し上げ、所信の表明と致します。

平成 25 年 2 月

飯山市長 足立正則